

新宮山彦ぐるーぷ第2326回

行仙宿巡回整備と土止め板作りなど

◇実施日 10月6日(日) 曇り

◇参加者 沖崎吉信、大江加予子・徳子、畑林秀味・清子、湯川一郎、梶野照雄 7名

10月1日に湯川君と二人で間伐材を降ろして板作りをしたが、帰りに水場の様子を見に行った。水場から降りる途中で直径が20cmほどの丸太が数本見つかった。小さな一本を落とそうとしたが、モノレールの上に落ちると被害が大きくなるので中止した。林道までは30m位だが、斜面が急で、確保なしで下の様子を見に行けなかった。



登山口に着く



丸太を落とす



集めた丸太

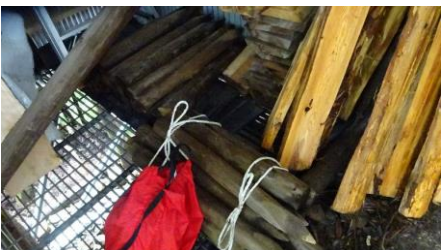
今回、湯川君にお願いして、ハーネスとロープを持ってきてもらい、丸太を落としても大丈夫な場所を確認してもらった。

当初は2名で実施予定だったが、新宮から5名が参加されて、7名での実施となった。

午前9時半過ぎに登山口に着く。湯川、梶野の2名を残し、5名は先に小屋に向かってもらう。モノレールは無人で降ろしてもらった。

水場の手前まで上がってレール側にトラバースし、湯川君がハーネスとロープで確保し、下の様子を見に降りた。モノレールの駐機場所とは離れているようだ。

丸太を落とすことができる場所が判ったので、短いものから落としていく。長いものは切って、10本ほどを落とした。



板と杭を降ろす

岩に穴を開ける

整理されたお堂



先日切った板と丸太杭20本をモノレールに積んで終点に向かう。丸太杭と板をコジマハウスに収納し小屋に向かった。途中の架橋予定場所で土を掘ってみる。10cmほど掘ると岩が現れた。掘る面積を広げると、

全面が岩になつている。山側の岩が谷まで続いているようだ。通信道を作る際に岩を削つて道を付けたのだろう。しっかりした岩盤が見つかったので、先日と同じように穴を開けて鉄筋を打ち込んだ。五つ目の穴を開け終わったところでドリルの先が丸くなつてしまった。橋台の基礎がほぼできたので、道具を片付け小屋に向かった。

小屋では女性陣がお堂の清掃、花を整理して生けなおし中だった。



本日の参加者

鉄筋をモルタル施工

4m架橋予定地

昼食後、午後1時に下山開始。6人は歩いて降りて行ったが、橋台の予定地で、打ち込んだ鉄筋の根元をモルタルで覆う作業を行った。5kgのインスタントセメントを全部使つて工事終了、モノレールで下山した。登山口では皆さんが落とした丸太の樹皮を剥いでいた。複数人でやると進捗が早い。丸太は全てきれいになつていた。

午後2時過ぎに新宮組が帰宅、チェーンソーを出して製材を始めた。

12枚の板を作つて作業終了し帰宅した。

(記：梶野)



樹皮を剥ぐ



下山



製材

行動タイム

09:40 補給路登山口 11:02 ↓ コジマハウス 11:24 ↓ 橋台の予定地
11:45 ↓ 12:50 行仙宿 13:00 ↓ 13:10 橋台の予定地 13:46 ↓
コジマハウス 13:57 ↓ 14:12 補給路登山口 15:40